

■「みらプロ2019」に引き続き「みらプロ2020」を実施

文部科学省、総務省、経済産業省、未来の学びコンソーシアムは、企業と連携し、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当てた総合的な学習の時間における指導案等の提供を行う取組を「みらプロ2020」として実施することとし、あわせて「みらプロ2019」の実施紹介動画、実施事例についても公表した。<https://mirapro.miraino-manabi.jp>



協会情報

■令和2年度教育映像祭「優秀映像教材選奨」および令和2年度「全国自作視聴覚教材コンクール」開催の中止

日本視聴覚教育協会主催による標記の事業について、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、本年度においては中止することとした。

なお、次年度は、応募要項を改め、実施をすることとしている。

<問い合わせ先> (一財) 日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

文部科学省情報

■授業目的公衆送信補償金制度の早期施行について

文化庁は、今般の新型コロナウイルス感染症に伴う遠隔授業等のニーズに対応するため、平成30年の著作権法改正で創設された「授業目的公衆送信補償金制度」について、当初の予定を早め、令和2年4月28日から施行することとした(令和2

年4月10日に施行期日を定める政令を閣議決定)。

学校の授業の過程における資料のインターネット送信については、従来は個別に権利者の許諾を得る必要があったが、この制度の施行により、個別の許諾を要することなく、さまざまな著作物をより円滑に利用できる。この制度は、学校の設置者が各分野の権利者団体が構成される「指定管理団体」に一括して補償金を支払うものだが、令和2年度に限り、補償金額を特例的に無償として認可申請を行うことが決定されている。

詳細は、以下を参照のこと。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html>

<問い合わせ先> 文化庁著作権課

TEL 03-5253-4111 (代表)

AV情報

■第11回教育総合展(EDIX東京)開催延期

令和2年5月20日(水)～22日(金)に東京ビッグサイトにて開催予定であったリード エグジビジョンジャパン(株)主催による標記展示会

全国ICT教育首長協議会情報

「2020日本ICT教育アワード」を決定

新型コロナウイルス感染対策により、Web上でプレゼンテーション

全国教育ICT首長協議会では、令和2年3月末日、標記アワードの受賞自治体を発表した。

第4回目となる「2020日本ICT教育アワード」は、首長や地域のリーダーが主体的に行動し教育ICT環境整備に取組み、地域創生につながった優れた事例に加え、Society5.0時代に向けて喫緊の課題である「教育クラウド時代の調達改革」についての実態等を明らかにするアンケートを広く実施し、他の自治体等の参考となる事例を収集し、選考委員会（委員長：東原義訓 信州大学教授）における選考を経て以下の4自治体を決定した。

- 文部科学大臣賞 福岡県田川市
- 総務大臣賞 長野県喬木村
- 経済産業大臣賞 長野県伊那市

○日本ICT教育アワード 福島県新地町

協議会では、受賞自治体の優れた取組を広く共有するために、令和2年5月21日に「全国ICT教育首長サミット」を開催し、表彰式および受賞自治体のプレゼンテーションを予定していたが、新型コロナウイルス収束の見通しが立たないことから、サミットおよび表彰式については中止とし、5月下旬にWeb上（<https://ictmayors.jp/>）でプレゼンテーションを公表することとした。

<問い合わせ先>

全国ICT教育首長協議会事務局
（一財）日本視聴覚教育協会内
MAIL info@ictmayors.jp

は、新型コロナウイルスの影響により、会期を令和2年9月16日（水）～18日（金）に、会場を幕張メッセに移し開催予定となった。

<問い合わせ先>リード エグジビション ジャパン（株）教育総合展（EDIX）事務局
TEL 03-3349-8749

■New Education Expo2020未来の教育を考える 開催延期

令和2年6月4日（木）～6日（土）（東京会場）、6月12日（金）・13日（土）（大阪会場）の2会場において開催予定であったNew Education Expo実行委員会（（株）内田洋行他）主催の標記イベントは新型コロナウイルスの感染拡大により、延期されることとなった。開催延期の日程、開催地等については後日下記HPで発表される。

<https://edu-expo.org/nee2020/>

<問い合わせ先>New Education Expo実行委員会事務局（株）内田洋行教育総合研究所内
TEL 03-5634-6397

■法教育教材（視聴覚教材）を利用したモデル授業例の公開

法務省では、学校現場における法教育授業の実

践を促進し、法教育のさらなる普及を進めることを目的として、視聴覚教材を用いたモデル授業の実践内容とその成果について実践報告を公開している。

<内容等>小・中・高等学校での授業実施内容やその成果についての実践報告。冊子教材とともに、授業で活用した視聴覚教材が以下のサイトから視聴覚できる。

<http://www.moj.go.jp/housei/shihouhousei/index2.html>

<問い合わせ先>法務省大臣官房司法法制部司法法制課司法制度第二係

TEL 03-3580-4111（内線2362）

■「ICT環境のレベルと児童生徒の認知過程との関連研究」報告書 公開

（一社）ICT CONNECT 21と（公財）パナソニック教育財団では、2019年度共同研究事業として、標記研究の報告書をWeb上に公開した。ICT環境がどのように子供の認知に影響を与えるかどうかを調べる、文献研究と実証研究による結果報告となっており、自治体や学校現場でのICT整備計画の策定等に資する内容となっている。

「ICT環境のレベルと児童生徒の認知過程との関連研究」報告書は、以下よりダウンロードできる。

http://www.pef.or.jp/wp-content/uploads/2020/04/ict_report2019.pdf

<問い合わせ先> (一社) ICT CONNECT 21
TEL 03-4578-8823

コンクール情報

■映文連アワード2020作品募集

短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能を担うことを趣旨に、(公社)映像文化製作者連盟では、作品を募集している。

<部門>コーポレート・コミュニケーション、ソーシャル・コミュニケーション、パーソナル・コミュニケーションの3部門。

<応募要件>平成31年4月1日～令和2年3月31日までに完成した作品。作品の上映時間は原則として60分以内。メディア・手法は、映画・ビデオ、テレビ番組(地上波テレビ番組以外)、アニメーション、CG、展示映像、モバイル、VR。

<賞>最優秀作品賞(グランプリ)、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞各1点他。

<締切>令和2年5月31日(日)消印有効。

<問い合わせ先> (公社)映像文化製作者連盟
TEL 03-3662-0236

■第47回「日本賞」作品募集

NHKでは、音と映像を用いた教育コンテンツの質の向上を図ることにより、世界の教育メディアの発展に資するとともに、国際的な理解と協力に貢献することを目的に標記コンクールを実施する。

<資格>応募作品の著作権を有する放送事業者、映像制作プロダクション、コンテンツ制作プロダクション、教育研究機関、非営利活動団体等。

個人による応募は受け付けない。

<部門>1 幼児、2 児童、3 青少年、4 一般、5 デジタルメディア

<対象>部門1～4においては、テレビ番組、映画、ビデオ作品(オンライン配信を含む)。

部門5では、ウェブサイト、ゲーム、アプリケーションソフトウェア、クロスメディアコンテンツ、ポッドキャスト等。

<賞>グランプリ日本賞、各部門最優秀賞他。

<締切>令和2年6月30日(火)23時59分(日本時間)必着。

<問い合わせ先>日本賞事務局

MAIL s02703-japan-prize@nhk.or.jp

各地の情報

■公開講座「小学校で使えるロボット・プログラミング」

東京学芸大学では、公開講座の一環として、標記講座を開講する。

<日時>令和2年8月7日(金)10:00～17:00

<会場>東京学芸大学一般講義棟(東京都小金井市貫井北町4-1-1)

<対象>現職教員。

<内容>ロボットプログラミング教材を使ったブロックプログラミングでの体験講習。午前中は理科「電気の利用」に即したプログラミング体験、午後は総合学習をベースにセンサーを使つての「ぶつからない車・自動制御カー」体験。要事前申込。

募集期間は、令和2年6月5日(金)～7月17日(金)まで。先着順、定員(15名)になり次第締切。詳細は、以下を参照のこと。<https://www.u-gakugei.ac.jp/seminar/2020/30-1.html>

<問い合わせ先>東京学芸大学 研究・連携推進課地域連携係 TEL 042-329-7119 (平日9:00～12:00・13:00～17:00)

文部科学省選定作品

■3月選定 紙 紙しばい 回 DVD

特別選定「レレコさんと かおかきこぞう」紙12枚<幼稚園/幼児、教養/少年、教養>(株)童心社 ※少年においては、選定。

「あさのおしたく これだれの?」紙8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「食生活のこと、考えてみた!」回20分<中学校、技術・家庭>(株)放送映画製作所

「しではら—かどま市が生んだ日本の総理—」回40分<成人、教養>劇団ARK

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm